

山 弓 連 令和6年第2号

令和6年12月 発行：山梨県弓道連盟

功 勞 表 彰

山梨県体育功労者表彰

9月14日山梨県体育祭り開会式において、本年度の体育功労者表彰が行われました。弓道関係者として、綿奈部 博史氏が山梨県体育功労者表彰を受賞されました。おめでとうございます。綿奈部氏は県弓道連盟の理事長を務め、連盟の運営の要となって活躍するなか、部活外部指導員として、中学、高校生の指導にあたり学校部活動にも貢献しておられます。



第78回 国民スポーツ大会 関東ブロック大会開催される

8月17日、18日に渡って小瀬スポーツ公園 武道館弓道場において標記大会が、開催された。関東ブロック8都県から130名におよぶ選手、監督が参加、国スポ本大会出場をかけた厳しい戦いが繰り広げられました。

本大会は8年ぶりの山梨開催となり、2月から開催に向けて準備を進めてきました。直前の台風

接近で、予定通りの開催が危ぶまれましたが、大会は予定通り進められました。今大会では特に記録の一元化を基本方針として、できる範囲でIT化を進めたことで、今後の大きな大会運営の基礎ができたのではないかと考えられます。

遠的射場
得点表示



本年の異常な暑さの中、選手、監督はもとより、大会を支えていただいた役員の皆様には、体調管理にも気を配りながらの運営となりご苦労も多かったものと思います。

結果、少年女子チームが本大会への出場権を獲得するといううれしい結果で締めくくることができました。

6か月に渡り、延べ710名の会員、高校生のみなさんのご協力により無事開催できたものと思います。ありがとうございました。（理事長）



役員打合せ



近的競技

全国・関東大会結果



第78回国民スポーツ大会 少年女子 近的第4位

令和6年10月5日～8日 佐賀県多久市

少年女子のメンバー、選手・山本萌衣（富士河口湖）、山本菜菜（巨摩）、岩森咲良（山梨学院）、監督・中沢友二（甲府商業）、コーチ・山本一博（富士北稜）の5名で佐賀国スポに挑みました。

関東ブロック予選での近第6位、遠第1位が象徴するように近第を苦手としていたチームでしたので、国スポでは近第は「最善を尽くし」ながら、遠第で「勝負」の意気込みで練習してきました。結果としては近第4位入賞、遠第予選落ちと、想定していたものとは逆の結果となってしまいましたが、山梨、関東の代表として、気負うことなく「自分らしさ」を表現して勝負できたことに満足しています。支えていただきました菊池会長をはじめとする山弓連のみなさんに感謝いたします。

今回から国体の名称が国スポと変更され、大会が持続可能なものにしていくために、開催地の負担軽減が求められており、練習会場の設置が無い、応援席の簡素化などの規模縮小が見られました。そうした状況下での現地練習は、交友関係のある指導者同士で情報を共有し、佐賀県・福岡県の弓道場確保に努めました。特に決勝トーナメント前日、愛媛県からお誘いいただいた大川市弓道場での練習は、静寂の中、互いに意識を高め合いながら刺激ある練習ができたことが印象に残ります。

最後に佐賀県の人口は山梨県と同じ規模にあり、九州での位置付けも関東の山梨に近いものがあります。本県も8年後に国スポを迎えるにあたり、少ない人員ながらもコンパクトな運営を行った本大会は非常に参考となるケースであると感じました。

報告 少年女子監督 中沢友二



山本萌衣(富士河口湖)

日々の練習は辛いものが多かったけれど、チームで乗り越えて、結果を出すことができ良かったと思います。どんな時でも「いつも通りであること」を考えて、射に向き合うことができました。そのようにできたのも、普段の練習で仲間と支え合い、お互いを信頼することができていたからだと思います。結果がどうであったとしても、このチームで弓を引けたことは私の一生の名誉であり、これからの自信につながっていくと思います。

山本菜菜(巨摩)

今回の成績は自分の想像を超えるものであり、心の底から嬉しく感じています。大会までの練習ではうまくいかないことが多く、気分が落ち込むことも多々ありました。しかし、いつも懸命に練習をしているチームの2人の姿や優しい声かけに励まされ、壁を乗り越えることができました。ここまで来れたのは先生方や家族、友人のおかげです。本当に感謝しています。高校最後の弓道をこのメンバーでやり遂げて本当に幸せでした。

岩森咲良(山梨学院)

本国で4位という結果は、私の弓道生活において成長できた証だと感じています。ですが優勝を目指した私たちにとっては、悔いの残る結果でもありました。自分の弓が全国で通用したことに自信を持って一方で、最後まで集中力を保持することの重要さをこの大会で学びました。また関ブロ運営をしてくれた県連の方々、高体連の先生方、家族や仲間には心から感謝しています。数年後、山梨成女で本国へ出場し、山梨に恩を返したいです。

第 36 回 全国福祉祭り鳥取大会(ねんりんピック) 佐野選手、小林選手に高齢者表彰

令和6年10月18日～22日 鳥取県米子市

交流大会参加選手

渡辺 優、横澤 英俊、小林 睦美、
大木 良文、佐野 辰巳

交歓試合

柳本 武彦、大木 政子

10月18日羽田より鳥取へ空路で移動。19日の総合開会式に備えたが、大雨のため総合開会式は中止となってしまった。午後からは米子市文化ホールでの弓道開始式に参加。開始式にて、佐野辰巳さん、小林 睦美さんが高齢者表彰を受け、会場から大きな拍手をいただきました。

10月20日 鳥取県立武道館で立射4矢1回の1回戦と交歓試合が行われた。

10月21日 2回戦は1手1回。合計30射の予選だったが、残念ながら予選通過ならなかった。

県内ではレンタカーを借り、松江城、水木しげる美術館、鳥取砂丘を見学、そして出雲大社にも参拝することができ、思い出深い大会となりました。

また11月22日には帰県報告会として、高齢者表彰を受けられたお2人と共に県庁で副知事に報告。この席でも佐野さん、小林さんは知事からの表彰をうけられました。

監督 大木 良文



令和7年度開催地 岐阜県岐阜市
10月18日～21日

第 65 回 関東地域弓道選抜選手権大会 称号者の部 4 位入賞

令和6年9月8日 茨城県水戸市

関東地域 10 地連から、各地連で選出された有段者 5 名、称号者 5 名が出場、各自一手 3 回、(最初の一手は採点制) 計 6 射での得点、的中を競った。

称号者の部に出場した山下 弘行 選手は皆中者 5 名による競射の結果、4 位入賞を果たした。また地連別総合の中では第 2 位、総得点は第 3 位と健闘した。

【出場選手】

種別	段位	氏名	種別	称段	氏名
有段者の部	五段	平山 大典	称号者の部	錬六	根津 里美
	四段	秋山 大貴		錬六	内藤 良太
	五段	鈴木 誠		教六	山下 弘行
	五段	深澤 小夜		錬六	上條 剛央
	五段	渡辺 元樹		教六	中村 昌夫

県内大会結果

山梨通運杯、山梨通運旗 争奪大会

山梨通運株式会社主催による標記第 1 回大会が本年 5 月 8、9 日(高校生対象 山梨通運旗争奪弓道大会) および 7 月 7 日(一般および高校生対象 山梨通運杯争奪弓道大会) 開催された。

小瀬武道館弓道場

第 1 回山梨通運旗争奪弓道大会



男子優勝 吉田高校

支部だより

大月市制 70 周年記念 祝賀協賛弓道競技大会

令和6年7月28日(日) 大月真弓会道場

場

大月真弓会道場に於いて、大月市制 70 周年記念祝賀協賛弓道競技大会を開催いたしました。節目の本大会は、自然災害及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により、7年ぶりの開催となりました。現支部会員の半数近くが本大会を経験したことがない中で、県内外の弓友 54 名が集いました。猛暑の中、福正寺のご協力のもと本堂を休憩所として使わせていただいたお陰で、体調を崩される人もなく、本大会を無事行うことができました。改めて厚く御礼申し上げます。

結果は以下の通りです。

団体部 優勝 大月Dチーム 16中
(神田英彦・嵯峨崇・佐々木重雄・矢頭恵造)

第2位 富士川・南部チーム 15中

第3位 富士吉田チーム 15中

*2位3位は2チームによる射詰競射

個人部 優勝 神田英彦(大月) 6中

第2位 酒井紀夫(都留) 6中

第3位 依田亮二(富士川) 5中

第4位 桑原 良(富士吉田) 5中

第5位 遠藤知穂(大月) 5中

*1位2位は2名による射詰競射

*3位~5位は7名による遠近競射

大月支部 理事長 神田英彦

昇格おめでとうございます

令和6年9月27日 関東地区臨時中央審査

錬士 深澤 小夜 (南アルプス)

編集後記

全国ねりんピック大会で高齢者表彰を受けられた佐野先生、小林先生を見習いあの年齢でも弓を引き続けたいものです。koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)



女子優勝 韮崎高校

第1回山梨通運杯争奪弓道大会

本大会は近的競技8射、遠的競技8射の合計的中数で争うという初めての競技会。

山梨通運殿からはたくさんの副賞も提供された。

参加申込人数 144名 参加 132名

射数 近的4矢2回 8射 遠的4矢2回 8射 合計16射

高校の部

順位	氏名	学校名	学年	近的的中数	遠的的中数	合計的中数
優勝	岩森 咲良	山梨学院	-	7	7	14
2位	松岡 佑希	韮崎工業	-	5	7	12
3位	山本 萌衣	富士河口湖	-	3	6	9

一般の部

順位	氏名	支部名	段位	近的的中数	遠的的中数	合計的中数
優勝	渡辺 啓和	富士吉田	参段	8	6	14
2位	上條 剛央	上野原	錬士六段	8	5	13
3位	長澤 和久	南アルプス	五段	8	5	13
4位	中村 友	山梨大医	四段	6	7	13
5位	内藤 良太	南アルプス	錬士六段	7	6	13

2位~5位 遠近競射による

主催者賞

	氏名	支部名	段位
77位	白須 春	富士吉田	初段
14位	鈴木 誠	甲州	五段
遠的1中	明間 史佳	山梨	式段

会長賞

	氏名	支部名	段位
	関 道弘	甲府	錬士五段

